

WS
11

「芸術とは何か」：美術作品の鑑賞法をめぐって

【定員】30名 【受講料】2年・1年会員ともに17,160円 聴講生18,590円

『美術』美術Ⅰ・Ⅱワークショップ 【時間】毎回13時30分～15時30分（計12回）

概要

昨今の展覧会の賑わいを見るにつけ「作品の鑑賞に美術史的知識はどのように生かされるのか、いやそもそも不必要ではないのか」という問題が浮上してきます。そこで今回は皆さんが日頃から美術に関して抱かれている問題を中心に、多様な鑑賞の仕方についてご一緒に考えてみようと思います。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/6(金)	新百合21 ビルB2 第2会議室	「芸術とは何か」：オリエンテーション（WSの進め方と問題提起）	多摩美術大学名誉教授 諸川 春樹
2	10/13(金)		スタイルの問題：変化する表現様式	
3	10/27(金)		本物と偽物：どうやって見分けるか	
4	11/10(金)		美術理論は怖くない	
5	11/24(金)		社会と美術：美術作品の役割とは	
6	12/1(金)		工房からアカデミーへ：知的存在としての芸術家	
7	12/8(金)		肖像画の嘘：パトロンが存在	
8	12/15(金)		自画像とナルシズム：芸術家の自意識	
9	1/26(金)		イコノロジー：作品鑑賞に解釈は必要か	
10	2/2(金)		隠された心理：作品の理解に心理学の応用	
11	2/9(金)		「らしさ」の問題：ジェンダーと美術	
12	3/22(金)		傑作を求めて：作品鑑賞と美術史	